



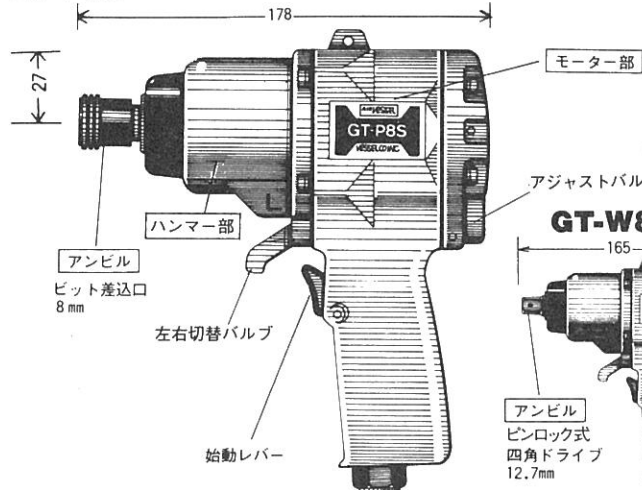
安全運転と上手な使い方



ベツセルエアーツール

GT-P8S エアードライバー GT-W80P エアーインパクトレンチ (ダブルハンマー)

GT-P8S



仕様	単位	P8S		W80P	
		(普通ネジ径) 8~10	(ビット差込口) 8	(普通ボルト径) 8~10	(ビット差込口) 8
能力	mm				
四角ドライブ	mm				12.7
使用空気圧力	kg/cm ²	6		6	
無負荷回転数	rpm	7,200		7,200	
空気消費量	m ³ /min	0.36		0.35	
全長	mm	178		165	
重量	kg	1.96		1.92	
使用エアホース(内径)	mm	6.38		6.35	
ホース継手	PT	1/4		1/4	

機種名	付属品	
GT-P8S	両頭ビット (A15⊕2×65G A15⊕3×65E)	1本 1本
	ベツセルコンセントBPB-2	1個
	L型レンチ 対辺 4mm	1個
GT-W80P	標準ソケット (A24-1 対辺17)	1個
	ベツセルコンセントBPB-2	1個
	L型レンチ (対辺 4mm)	1個

※付属ビット・ソケットの外に規格品として各種サイズ取揃えていますので、パンフレットを各営業所へご請求ください。

給油は励行してください

エアーツールは給油が大切です。給油なしで使用すると調子と寿命に大きく影響します。給油方法は次項について励行してください。

- 1. モーター部……毎日作業終了後は必ず給油してください。**
給油方法は左右切替バルブを左右いずれかに合わせ、エア吸気口よりスピンドル油 (#40~#60) を一杯になるまで入れ、始動レバーを作動させてください。(連続運転の場合は2回以上。1ヵ月以上長期保管の場合は通常の3倍給油してください。)
- 2. ハンマー部……この部分は1ヵ月に1回必ずグリス交換をしてください。**
グリス交換方法は、六角穴付ボルトを外し、ハンマーケースからハンマー部分を取り出して古いグリスをよく落とし、新しいグリスを入れてください。グリスは多量に入れると回転が低下し能力が落ちる場合があります。

エアの管理を十分に

- 1. エアコンプレッサーは1馬力以上のものがが必要です。**
コンプレッサーの圧縮空気は水分が多く含まれています。この水分を除去するためにフィルターを取り付け、又、ドレン抜きは毎日励行してください。そのままにしておくと本機の早期故障の原因になります。
- 2. 空気圧力は6kg/cm²で使用するのが標準です。**
高い圧力で使用すると本機の寿命が短くなります。又、低い圧力では出力が低下し、機能障害の原因になります。出来るだけ標準圧力でご使用ください。
- 3. 配管は1/2以上で、ホース内径は指定寸法以上のもの、継手類は流量の充分あるものをご使用ください。**
- 4. バルブ、コック等は一杯に開いてください。**
エアが絞られていると本機の能力に達しません。
- 5. 購入後、最初に本機を取付ける時や、ホースを取替えた時等は配管内、ホース内のゴミを充分吹き去ってから本機を取り付けてください。**

運転は正しい方法で

- 1. 給油後ご使用の時、排気と共にオイルが吹き出ますから数秒間空回転を行なってください。**
- 2. 始動方法は、始動レバーを引くと回転し、離すと止ります。**
- 3. 左右回転の切替は、左右切替バルブをRに合わせると右回転、Lに合わせると左回転となります。**
- 4. トルク調整は、アジャストバルブで行ないます。**
4段切替えて、4(最大)←→1(最小)の能力で働きます。作業状態に適した目盛でご使用ください。
- 5. ネジ・ボルト・ナットの締付けは、手で1~2山入れてから本機で締めてください。**
通常2秒以内で締付けは完了します。締付け完了後は直ちにレバーを離し、回転を止めてください。続けるとネジ・ボルトがねじ切れたり、ハンマー部品の損耗を早めます。
- 6. 5秒で緩まないネジ・ボルト・ナットあるいは必要トルクに締まらない時は、より大きい能力のエアーツールが必要です。**
- 7. エアホースと本機の接続は、当社のベツセルコンセント(流体継手)をご使用頂くとワンタッチで本機とホースの接続ができ、大変便利です。**
あわせてご使用ください。
- 8. 無負荷での空回転は、必要以外(項目1)は出来るだけ避けてください。**
(ビット・ソケットを取付けての空回転は絶対に行なわない様ご注意ください)



合格証

製番 5028

一日2回必ず注油

検査

